

会 議 録

1 会議名

令和元年度 第2回高土区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域活動支援事業のヒアリング（公開）

3 開催日時

令和元年5月15日（水）午後6時から午後8時45分まで

4 開催場所

高土地区公民館 2階 中会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：青木正紘（副会長）、飯野憲静（会長）、飯野正美、金子和博、中嶋真一
日向こずえ、細谷八重子、横川英男、横山とも子（欠席3人）
- ・事務局：中部まちづくりセンター 本間センター長、藤井係長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

【田中主事】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【飯野会長】

- ・挨拶

【田中主事】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【飯野会長】

会議録の確認：飯野 正美 委員

次第3 議題「(1) 地域活動支援事業のヒアリング」に入る。事務局から本日の進め方について説明を求める。

【田中主事】

・提案書、資料1、当日配布資料に基づき説明

【飯野会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

ではヒアリング日程表に基づき進めて行く。ここからの進行は事務局に一任する。

【田中主事】

・「士-1 高齢者の見守り活動・会食会・弁当配食事業」の紹介

【士-1 提案者】

・事業説明

【田中主事】

「士-1」について質疑を求める。

【横川委員】

ボランティア保険の説明に、会長・副会長は除くとあるが、会長と副会長は除外されているのか。

【士-1 提案者】

希望して加入した人数とボランティア活動を企画している構成員を合わせた人数が68人ということである。そのため、ひとふさの会の構成員数が保険加入者数ということではない。偶然にも構成員数より保険加入者数が2人少なかったが、実際には町内会長が取りまとめ、加入を希望した人数である。

【田中主事】

補足箇所については、聞き取りの結果を事務局が記載したものである。事務局と提案者で見解の相違があったため、各自で削除願う。

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で、ヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

【田中主事】

・「士-2 飯田川のいきものと自然のふれあい活動事業」の紹介

【士-2 提案者】

・事業説明

【田中主事】

「士-2」について質疑を求める。

【横川委員】

以前、飯田川の堤防に蜂の巣ができたことがあり、一時は危険との認識があった。そのため、蜂の巣の除去等の対応を今後していく予定はあるか。

【士-2 提案者】

町内に毎日散歩をしている住民がおり、何か気付いたことがあると町内会長に連絡が来るようになっている。しかし、それで万全かと言われれば難しいところもあるが、同様のことを町内住民にも呼びかけており、何かあった場合は対応したいと思っている。

【飯野 正美委員】

事業名が「自然のふれあい活動事業」だが、今回の提案は備品等の購入が主である。例えば、飯田川堤防には、このような鳥や動物がいるといった看板の設置は、検討しているか。

【士-2 提案者】

今のところ考えてはいないが、今後、回を重ねることによって様々な意見を参考に活動していきたいと考えている。

【田中主事】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で、ヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

・「士-3 『男の料理教室』開催事業」の紹介

【士-3 提案者】

・事業説明

【田中主事】

「士-3」について質疑を求める。

【日向委員】

提案書では既存会員が13人、新規見込会員が2人となっているが、新規見込会員は決まったのか。

【士-3 提案者】

まだ決まっていない。

【日向委員】

この2人の新規会員は高士地区の住民を見込んでいるのか。

【士-3 提案者】

昨年度の募集が始まる時期に三和地区の方から連絡があり、大変喜んで参加していた。高士区で面白いことをやっているということが地区外にも広がって来ていると感じているが、今年度はどのような人が申し込んでくるのかはまだ把握できていない。

【横川委員】

2点確認である。1つ目は支出欄に保険料の記載があり、料理をするのが男性のため慣れていない部分もあるとは思いますが、自己責任で実施することは出来ないのか。次に保険に加入しない場合、事業を実施しない考えはあるか。

【士-3 提案者】

組織としての活動であるため、参加者に何かあった場合に参加者の自己責任として、主催側が何もしない訳にはいかない。また、市の補助金を利用した事業でもあるため、組織として何もせずにいることはまずいと考えている。

【横川委員】

もし保険料が一部減額となった場合、事業として成り立つのか。または、事業自体を取りやめるのかを確認したい。

【士-3 提案者】

保険については全く考えていなかった部分であるが、事業は継続していきたいと考えている。

【飯野会長】

地域活動支援事業は市の税金である。保険に加入するにしても自己負担とするのか、補助金で賄うのかを考えて実施してほしいと考えている。次に、地域活動支援事業の配分額は地区ごとに配分されている。そのため、新規会員は高士地区内から募集してほしいと考えている。他の地区からの参加者がいる場合、他の地区の地域活動支援事

業に提案し、補助金を貰ってはどうかと考えている。次に、高新会の内部でのみ活動しているが、外部に発表する機会を設けてはどうか。以前に、地区内で結婚歴のない未婚者に声掛けをしての実施を検討してはどうかと助言したことがあったが、声掛けをした様子はないように思う。これらについてどのように考えているのか聞かせてほしい。

【士-3 提案者】

保険については、補助金を利用していることを参加者に十分周知していきたいと考えている。次に声掛けについては、今後は一歩前に進み、声掛けをしていきたいと考えている。次に発表の機会については、現在は集まった人間で楽しんで事業を実施している状況であり、楽しむ場づくりが大事だと考えている。現在は、場づくりに力を入れている状況であるため、外部への発表は今後の課題としたい。みんなで明るく楽しい場をつくるのが、明るく楽しい地域づくりに直結すると考えている。

【田中主事】

以上で、ヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

- ・「士-4 高土地区お買い物ツアー事業」の紹介

【士-4 提案者】

- ・事業説明

【田中主事】

「士-4」について質疑を求める。

【飯野 正美委員】

年3回の事業実施であるが、参加者がいなかった場合はどうなるのか。

【士-4 提案者】

婦人会の役員の中で都合の合う人に声掛けをし、参加費800円を徴収して定員8人になる様に調整している。婦人会役員の中で協力し、実施している。

【飯野 正美委員】

毎回、必ず参加者はいるということか。

【士-4 提案者】

毎回3人の参加者は確保できている状況である。しかし、高齢者であるため、前日や当日に体調不良等で参加できなくなる場合もある。ひとふさの会の参加者は高齢者

が多く、1人暮らしの高齢者も多いため、手を差し伸べ協力したいと考え声掛けを行った。

【田中主事】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で、ヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

- ・「士-5 高土地域の歴史調査・集積事業」の紹介

【士-5 提案者】

- ・事業説明

【田中主事】

「士-5」について質疑を求める。

【飯野正美委員】

活動内容について確認したい。資料作りについて、具体的に取り組んでいるものがあれば教えて欲しい。

【士-5 提案者】

飯田で話であるとすれば、明治30年代に寺院が改修された際、飯田町内はもともと職人が多くいるとの話であったが、実際はどうであったのか聞き取りを行い資料にまとめた。本当に職人が多くおり、大工が8軒、左官が10数人いたことが分かった。これらを現在取りまとめている。その他に、その当時は農耕文化であったため、使用していた農具が全て木製であった。その木製の農具の先に金具を付ける農鍛冶が飯田には3軒あり、「上の鍛冶屋」、「中の鍛冶屋」、「下の鍛冶屋」と言われていた。現在はこの集落でも農耕文化の名残で、鍛冶屋や農鍛冶が門名^{かどな}として残っている所が多くある。前回作成した小冊子の中でもこれらを取りまとめているが、個人情報関係もあり、各町内会の全てを掲載する訳にはいかず、どこの町内には何軒という形で記載した。自分が知らないことがまだまだ眠っているため、このような調査を今後も進めて行きたいと考えている。

【田中主事】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で、ヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

・「士-9 小冊子『川上善兵衛翁を語る』作成事業」の紹介

【士-9 提案者】

・事業説明

【田中主事】

「士-9」について質疑を求める。

【金子委員】

提案書に記載されている小冊子の配布先にその他関係機関とあるが、具体的な配布先を教えて欲しい。

【士-9 提案者】

具体的な配布先は決まっていない。小冊子を 500 部作成するにあたり、配布先を決定した残数である。具体的な配布先は今後決定していく予定である。

資料をまとめる必要性として、語り部もかなりの高齢となっており、それを引き継ぐため、今行わなければならない時期になって来ている。

【田中主事】

以上で、ヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

・「士-6 高士地区の安全安心対策事業」の紹介

【士-6 提案者】

・事業説明

【田中主事】

「士-6」について質疑を求める。

【横川委員】

災害はどの様なものを想定しているのか。提案書には地震の記載があるが、地震のみを想定しているのか、他の災害も想定しているのか教えてほしい。

【士-6 提案者】

地震だけではなく全般的な災害を想定している。例えば、地域内で水害が起こった場合も避難が必要となることが考えられるため、状況や避難先に合わせて、様々な場面を想定している。

【飯野 正美委員】

対流型ストーブ 2 台の購入を希望しているが、なぜ 2 台なのか。

【土-6 提案者】

広い体育館で使用する場合、当然 2 台では足りない。しかし、置き場等を考慮し、他の提案事業にも配慮して 2 台としている。昨年度に、一気に備品を揃えられないのかとの質問を受けたが、毎年少しずつ備え付けて行く方針で取り進めている。そのため今年度は 2 台を購入したいと考えている。

【横川委員】

今回購入を希望しているストーブやこれまで購入した物の保管場所はどうしているのか。

【土-6 提案者】

現在、高士地区公民館の隣に物置を 2 台設置している。内 1 台は昨年度に地域活動支援事業の補助金で設置した物である。当然、備品を揃えていくと保管場所がなくなってくるため、2 台の物置に収納できる範囲内で備品を取り揃えていく予定である。ストーブ購入にあたっては、当然収納場所が必要となってくるため、収納場所も考えながら購入計画を立てている。

【金子委員】

物置だけではなく、町内会に保管している備品もあると思うが、物置等の防犯対策はどうしているのか。

【土-6 提案者】

物置は施錠して防災士の役員が鍵を保管している。更に高士地区公民館にも 1 つ保管している。そのため、災害時には防災士に連絡を取って鍵を開けることになるが、緊急時は公民館に保管している鍵を使用して鍵を開けることも可能である。

【田中主事】

以上で、ヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

- ・「土-7 令和元年 高士地区・高士小学校体育大会事業」の紹介

【土-7 提案者】

- ・事業説明

【田中主事】

「士-7」について質疑を求める。

(発言なし)

以上で、ヒアリングを終了する。

・「士-8 ニュースポーツの普及事業」の紹介

【士-8 提案者】

・事業説明

【田中主事】

「士-8」について質疑を求める。

【金子委員】

これまでに購入した用具には、地域活動支援事業費にて購入等の記載はされているのか。

【士-8 提案者】

全て備品と倉庫に地域活動支援事業補助と記載している。

【青木副会長】

高土地区体育協会は、他の地区に先駆けて斬新な競技を取り入れている。スカットボールについて、どの程度普及してきているのか。また、何名で行うものなのか、団体競技なのかを教えてほしい。

【士-8 提案者】

スカットボールについて、近隣では清里区が用具を揃えており、2 セット取り揃えている。3月10日の普及活動では、清里区の用具を借用して普及活動を実施した。競技人員については、1セットで10人程度が競技できる。人数は前後しても競技を行えるため、地区に合ったやり方で実施可能である。3月10日の普及活動の際も多くの人員が集まったため、1セット当たりの人員を多くして対応した。スマイルボーリングとは違い、軽易に行え、広いスペースも必要ない。5メートル四方で実施可能である。

【青木副会長】

室内競技なのか。

【士-8 提案者】

そのとおり。

【横川委員】

スカットボールは手軽にできるため、今年度は諏訪区でも同様の提案が出ている。

どちらも採択された際にはお互いに貸し借りをを行いながら競技人数が増えていけば良い
と思っている。

【飯野 正美委員】

ニュースポーツは様々な競技があり大変驚かされている。いくつかある競技の中で、
なぜスカットボールを高士地区で取り入れることとしたのか。

【士-8 提案者】

高士区の課題である少子高齢化を踏まえ、だれでも気軽に出来るスポーツを前提と
して考えた。次に、地区民の交流と融和団結を図るためにはどうしたら良いのかを考
え、軽易に実施可能な競技であること、計算が簡単なこと、短時間で競技が可能であ
り、狭い場所でも競技可能なニュースポーツであることから、スカットボールを取り
入れることとした。

【田中主事】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で、ヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

・「士-11 平成 31 年度 稲谷【だんとうの大杉】保存事業」の紹介

【士-11 提案者】

・事業説明

【田中主事】

「士-11」について質疑を求める。

【横川委員】

「だんとう」の意味合いについての説明があったが、「だんとうの大杉保存会」は今
後も同様の名称で活動していくのか。

【士-11 提案者】

昨年度に「だんとう」を名称から外し、「稲谷大杉保存会」の名称での活動も検討し
たが、「だんとう」の歴史があるため、現在は名称から外すことはできないと考えてい
る。

【横川委員】

今年度は樹木医による診断のみとしているが、処方箋による今後の保存計画は来年

度以降を予定しているのか。今年度はどこが悪いといった診断のみということか。

【士-11 提案者】

そのとおり。

【金子委員】

調べたところ県内に樹木医が4者ある。今回見積もりを取った2者に至った経緯を教えてください。

【士-11 提案者】

1者は昨年度の追加募集の際、どの程度の金額がかかるのかを知るため、くびき野森林組合を経由した樹木医である。今年度は2者以上の見積もりが必要であったため、そのため、他の業者を探し連絡を取った。樹木医は調査項目毎の単価があるため、同様の条件で見積もりを取らなければ不公平が生まれると考え、依頼する調査項目を調べて同条件での見積もりを依頼した。

【田中主事】

調査項目については提案書の11ページを参照してほしい。

【飯野会長】

樹木医への見積もりの方法が適切にされている印象である。この見積もり方法はどこかの事例を参考にしたのか。

【士-11 提案者】

昨年度に徴した見積もりに調査項目の一覧が添付されていた。昨年度の見積もりにはドローンによる撮影も含まれていたが、そこまでは必要ないと考えた。また、一番重要と言われた項目が内部の空洞を調べる超音波診断との話であった。これらの話も含めて精査しながら調査項目一覧を作成し、同条件での見積もりを依頼した。

【田中主事】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で、ヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

・「士-12 『雪まつり（キャンドルイベント）』開催による地域交流・地域活性化事業」の紹介

【士-12 提案者】

・事業説明

【田中主事】

「士-12」について質疑を求める。

【横川委員】

今ほどの説明にイベントは長く続けることが大切との話があった。地域活動支援事業は、来年度以降も必ずあるとはいえないが、イベントを今後も継続する方法をどの様に考えているのか。

【士-12 提案者】

現在、明確な回答は実行委員の中にはない。しかし、地域活動支援事業によって高士ルミネが成り立っている部分は非常に大きい。そのため、地域活動支援事業が無くなった場合、現在の規模での開催は難しいと考えている。

【横川委員】

では、地域活動支援事業がなくなった場合でも、イベントの規模を縮小してでも開催するということか。

【士-12 提案者】

現状では実行委員内で想定した話し合いを行ったことがないため、何とも言えない。しかし、支援事業に頼らずに現在の規模で開催する場合、寄付金を募るか、利益を出して開催しなければならなくなる。だが、現在の高士ルミネでは利益を出すことは行っておらず、また大きな寄付金も募っていない。その為、現在の規模でのイベント開催を継続するには、現在のやり方では難しいと考えている。

【青木副会長】

清里地区の夏祭りは地域活動支援事業に頼ってはいるが、組織がしっかりとしているため、参考にしてほしい。

【士-12 提案者】

地域活動支援事業が無くなった場合、開催しないというよりは、現在の実行委員のメンバーで開催は、難しいと思っている。また、地域活動支援事業が無くなった場合は、違う団体として動かなければならなくなる部分も出てくると思う。清里区や牧区の「灯の回廊」の実行委員と話をする機会があるが、もともと村や町だった地区は商工会があり、町の中で商店や会社を営んでいる人もいる。それらを踏まえると高士区では土台が小さいため、寄付金を募っても現在の規模でのイベント開催が可能かは

不安なところである。そのため、単純に他の地区と比較することは難しい。しかし、高土区の冬のイベントとして認知されてきているため、違う形であっても継続していくきっかけや機会があれば良いと考えている。

【田中主事】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で、ヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

- ・「士-10 地区だより『たかし』発行事業」の紹介

【士-10 提案者】

- ・事業説明

【田中主事】

「士-10」について質疑を求める。

【横川委員】

提案書の支出の中に研修費として印刷業者への謝礼や交通費があるが、この内容を教えてほしい。

【士-10 提案者】

これまで紙面の行数や文字数等は決まっていたが、原稿を作成するに当たっての注意点等の研修等は一切行わずに、編集員を通じて原稿を回収していた。まだ印刷業者は決まっていないが、編集員が研修をすることも良いと思い提案した。また各地区で発行している広報誌も参考にして、良い所を取入れながら継続していきたいと考えている。

【田中主事】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で、ヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

- ・「士-13 ふるさと高土まつり事業」の紹介

【士-13 提案者】

- ・事業説明

【田中主事】

「士-13」について質疑を求める。

(発言なし)

以上で、ヒアリングを終了する。

- ・「士-14 交通事故のない安全安心なまちづくり事業」の紹介

【士-14 提案者】

- ・事業説明

【田中主事】

「士-14」について質疑を求める。

(発言なし)

以上で、ヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

- ・「士-15 『地元野菜の魅力発見』旬の野菜クッキング事業」の紹介

【士-15 提案者】

- ・事業説明

【田中主事】

「士-15」について質疑を求める。

【横山委員】

毎年保険料の記載があったように思うが、今年度は保険をかけないのか。

【士-15 提案者】

今年度は自己負担での実施を予定している。

【横山委員】

今年度の支出は、講師謝礼費と会場費、事務費となっているが、各回参加者から参加費は徴収しているのか。

【士-15 提案者】

食材費を参加費として徴収している。

【横山委員】

食材費は、毎回食材に合わせた金額を徴収しているということか。

【士-15 提案者】

参加者は自分で野菜を栽培しているため、野菜代はかかっていない。その他の必要

な食材は講師が購入してくるため、安い金額で実施出来ている。

【横山委員】

では特に会費は徴収しておらず、状況に応じて徴収しているということか。

【士-15 提案者】

そのとおり。

【横山委員】

保険はかけているのか。

【士-15 提案者】

子どもには保険をかけたいと思っているが、大人の参加者については個々に何かしらの保険に加入しているため都度かけてはいない。

【横川委員】

今ほど子どもの保険加入の話があったが、保険に入りたいという検討段階なのか。もし加入することが決まっているのであれば、提案書の支出に記載がなければならぬように思う。

【士-15 提案者】

子どもが20人までであれば、約1,000円で保険に加入できる。そのため参加者の会費の中から捻出したいと考えている。

【飯野 正美委員】

昨年度も少し話したが、せっかく料理をしているためもう少し周知をしても良いと思っている。前回はこの料理を作った、この材料でこの料理が作れる等を地域住民に発信しても良いと考えている。

【士-15 提案者】

周知・発信することも考えているのであるが、地域住民はあまり興味がない様である。自分たちは楽しく、良いことだと思い活動している。作ったものを食べれば、どうやって作るのかと聞かれるためレシピを渡すが、実際作っているのかは疑問である。参加者は作った野菜で料理が出来て楽しいため、続けたいと思っているが、会員の募集を行っても新規会員は増えない。小学生に呼びかけても、参加者が少ないため、考え時であると思っている。しかし、辞めることは簡単であるが、続けるためにはどうしたら良いのかと思っている。

【青木副会長】

子どもを対象とした料理教室には、保護者は付いて来ないのか。

【士-15 提案者】

子どもだけで参加している。参加した子どもたちを見ていると非常に喜んでおり、有線放送でも取り上げられたこともある。また普段話さない子どもが楽しそうに話してくれるなど、開催している立場としては嬉しくて仕方ない。しかし参加人数が問題であり、高齢者サロンに提供することで、少しでも理解が得られればと考えている。

【横川委員】

高新会の男の料理教室は地区外からも参加者がいる。旬の野菜クッキングは、地区内からの参加者のみなのか。

【士-15 提案者】

昔から引き継いでいる状況で、高士地区内からの参加者のみである。

【横川委員】

口コミで広げるにしても、良いものはなかなか広めにくい部分もあると思う。しかし、様々な場面と通して自分たちの活動を広めて行ってほしいと思っている。

【田中主事】

以上で、ヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

全ての事業のヒアリングが終了したため、進行を会長に戻す。

【飯野会長】

今後の流れについて事務局より説明を求める。

【田中主事】

- ・採点票の提出方法について説明

【飯野会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

次回の審査に関わってくるため期日厳守で各自作業願う。以上で次第3 議題「(1) 地域活動支援事業のヒアリング」を終了する。

次に次第4「その他」の「次回の開催日」に入る。

- ・次回の協議会：6月4日（火） 午後6時30分から 高士地区公民館 中会議室
- ・内容：地域活動支援事業「採択事業及び補助額の決定」

他に事務局より何かあるか。

【田中主事】

特にない。

【飯野会長】

- ・ 会議の閉会を宣言

【青木副会長】

- ・ 閉会の挨拶

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。